

2020年2月12日

レンズ交換式デジタルカメラの国内レンズマウント別台数シェアで  
2019年マイクロフォーサーズが No.1 を達成

オリンパス株式会社とパナソニック株式会社は、2008年に共同でマイクロフォーサーズシステム規格を発表し、本規格の普及に努めてまいりましたが、11年目を迎えた2019年、日本国内のレンズ交換式デジタルカメラ市場において、レンズマウント別台数シェア No.1<sup>※1</sup>を達成しました。

マイクロフォーサーズは、共同規格ならではのラインアップの発展性によって、映像の楽しみや活用の可能性を更に広げ、現在賛同企業はBtoB企業も含め54社となっております。2019年には、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠した4機種のミラーレス一眼カメラが新たに導入され、国内市場の活性化に努めてまいりました。その結果、2019年は国内市場におけるレンズマウント別トップ<sup>※1</sup>の台数シェア、19.8%を達成しました。

オリンパスとパナソニックは、フォーサーズシステム、マイクロフォーサーズシステム規格の提案企業として、今後もラインアップ拡充を図り、お客様の多様なニーズにあったデジタル一眼システムを提供してまいります。

●マイクロフォーサーズシステム規格について

フォーサーズ ウェブサイト(以下 URL)にて、規格の概要をご確認いただけます。

<https://www.four-thirds.org/jp/>

本リリースに掲載されている社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

※1 全国の有力カメラ取扱店の販売実績データに基づくフォーサーズ事務局調べ